



日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

ベンジャミン

通信

2016/8/18発行

第11号

11st 国際ブレインHSP
オリンピックアード大会

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします

第11回国際ブレインHSP オリンピックアード大会ニューヨークで開催

新しい時代を開く
脳活用の祭典

アメリカのニューヨークで8月2日、第11回国際ブレインHSPオリンピックアード大会が開催され、日・米・中・韓の学生ら約300人が参加しました。

IBREA(国際脳教育協会)と韓国脳科学研究院の共同主催で行われたこの大会は、特定分野の知識を評価するのではなく、脳活用の重要性を提示しており、「人間の価値は、その人の脳の中にある情報の量と質によって決まる。脳の無限の創造

性を活用し、人工知能にはない自然知能を開発することが、未来の人材の中心能力となる」という趣旨で子供たちの潜在的な可能性を開花させるために行われています。



まさか かい
▲真坂 海生君



こば たいせい
▲木庭 大晴君



▲ブレインウィンドウ：視覚を遮断して、色や文字を認知する高等感覚認知能力(HSP: Heightened Sensory Perception)を評価する



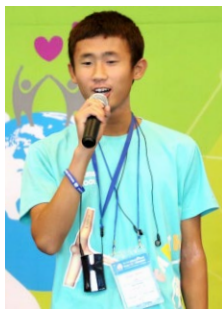
よしかわ
▲竹村 祥嘉ちゃん



HSP 12段を含む3種目が行われ、ブレインウィンドウ部門で真坂海生君(16)が銅賞、木庭大晴君(15)が優秀賞を、HSPジム部門では竹村祥嘉ちゃん(8)が優秀賞を受賞しました。



▲HSPジム：特定の姿勢を一定時間維持し、左右の脳の平衡感覚と持久力等を評価する



▲日韓徒歩プロジェクトとこれからの計画を発表

4日には、米国ECO(地球市民連合)とIBREAの共同主催で「へそから地球まで(Belly Button to the Earth)」をテーマに行われた「地球市民青少年リーダーシップキャンプ」に参加しました。



▲カンファレンス会場となった国連経済社会理事会(ECOSOC)の会議場

翌3日、国連本部で開催された「世界青少年メンタルウェルビーイングカンファレンス」に参加しました。

地球市民意識広がる
青少年クラブ発足

ベンジャミン人間性英才学校のセッションでは、日本を代表して木庭君が地球市民プロジェクトを発表しました。日中韓の青少年が共同運営する「国際青少年へそヒーリングクラブ」が創設され、より積極的に持続可能な地球を実現するプロジェクトを共に行っていくことを約束しました。



ベンジャミン人間性英才学校は

生徒が自己価値を高めて夢を実現できるよう導く1年課程の自己主導型代替学校です。「テスト」「成績表」「宿題」「教科授業」「校舎」のない環境で、地域社会や世間を学び舎とし、様々な出会いや体験活動を通して自分自身を見つめ直していきます。ベンジャミン学校の特徴の一つである「メンター」のサポートを受けながら、世界に役立つリーダーへと成長していきます。



校舎 教科授業 テスト 成績表 宿題